

所長の模型部屋（第3回）

皆様、いかがお過ごしですか。

すっかり秋らしくなってきましたね。山々も赤くなり、朝夕の冷え込みが厳しくなってきました。

この時期になると思い出すんですよね・・・苦い思い出を・・・

約20年前の10月、北海道大演習場において第71戦車連隊の中隊検閲の時でした。

私は操縦手になったばかりで不整地の操縦が上手でなく、攻撃前進中に泥の中でスタックし、動けなくなってしまいました。おまけに泥が巻き込みキャタピラが外れ、最悪の状況になっていました。車長には怒られ、先輩隊員には嫌みを言われ、後輩装填手には顔を向けられず・・・操縦手席で涙を流していました。そんなときに助けに来てくれたのが中隊整備班の・・・

78式戦車回収車でした。



整備班の方々からは、「たいしたことはない。直ぐに戦列に復帰するよ!」と励まされました。手際よく車体をウィンチで引き上げ、平らな場所にけん引し、レッカーで外れたキャタピラを泥の中から引っ張り上げ、約12時間後に修理完了! 攻撃に復帰しました。

この時の整備班の方々と78式戦車回収車ってとても頼もしく思えたのでした・・・



キットは「えときんモデル」のレジンキャストキットです。価格が2万円を越えるものでしたが、ボーナスが入ったこともあり、「良いパパにしていたからサンタからのご褒美なの！」と子供達に言いくるめて購入しました（笑）

左の写真はドーザを下げた状態。この状態にして車体前面のウインチ作業の時にアンカーとしたり、クレーンを伸ばして作業するとき車体を安定させるときに使用します。



今回は、私が中隊長であった第1戦車群303中隊を支援していた第101戦車直接支援隊3小隊車を作成しました。マークはフリーハンドです。整備庫に行っては実車と見比べながら作成しました。キャタピラは予算の都合上キットのままです。



実際は車体のありとあらゆる所に工具や予備部品を積載しているのですが、あえてすっきりと作成しました。車体上部の操縦・作業席はとても広く、乗員4人であってもゆったりとしていたのを覚えています。

塗装はサフェイサーを吹き付けた後に、アクリルタミヤの自衛隊色で仕上げました。スミ入れをした後にバフで軽くドライブラシしています。いつか予算が付いてカステンのキャタピラに換えたら、もう少しリアルにウェザリングしたいと思います。

さて、次回は・・・

96式装輪装甲車です！



ではまた自己満足の世界で会いましょう・・・